



ニュースレター



NPO 法人大阪環境カウンセラー協会 第24号 Jan. 2008
Osaka Environmental Counselors Association, Nonprofit Organization

新年を寿ぐ

理事長 高井 茂

明けましておめでとうございます。

きりのいい20年であり、十二支も初めの「子」となり、すべてが新たになる感じが致します。満75歳の私でも、体中でそれを感じ、わくわくしています。

OECA（大阪環境カウンセラー協会）の活動は今年の11月で満10年の節目を迎えます。

今年は大いに目を見張るような脱皮を致さねばなりません。

環境関連のNPO活動をしている仲間と仲良く、環境カウンセラーの方や他の協議会の方とも仲良く、エコアクション21の普及に邁進している方や審査人とも仲良く、国や自治体とも一層仲良くを合言葉にして活動を致しましょう。

また、OECA会員の潜在能力をより一層引き出せるような活動を致したいと思っています。

活動したいことは沢山あります。多くの方々のご意見をどしどしお寄せください。

初日記三百六十五日の白 堀内 薫
真四角で真白なるもの大旦 高井 茂



平成20年1月1日

【編者注記：堀内薫；1903（明治36）－1996（平成8）・奈良県生・「天狼」。大旦（おおあした：元日）】

エコアクション21全国交流研修大会 びわこ2007に参加して

「エコアクション21（EA21）全国交流研修大会びわこ2007」が、9月8&9日の両日、滋賀県長浜市で開催された。昨年参加した「やまがた2006」と連続してEA21全国交流研修大会へ参加しました。

今回は審査人に実用的な研修が企画され、現在、普及啓発活動の一線に立ち活躍中の地域事務局びわこの宮本、今村両氏と、OECAの高井理事長、宇田副理事長とが講師を担当・実施され好評でした。

また、地域事務局びわこのご尽力で実現した、嘉田由紀子滋賀県知事の記念講演は、「琵琶湖への思い・そこに暮らす人々と自然の関わり方・今後の課題・もったいない精神・EA21への期待」等をビジュアル化した判りやすい内容で、時間配分にも配慮された、“びわこ2007”にふさわしい、すばらしい記念講演でした。

交流懇親会では、OECAの芸能部門「林家笑中」こと中野氏を座長とした“どじょうすくい演芸団”で、当日急遽、出演をお願いした中央事務局、地域事務局熊本及び、地域事務局広島の名を加えた総勢十数名で出演しました。

座長から指導を受けた基本動作を基にし、後は、団員得意の即興を交えて演技した結果、交流懇親会を大いに盛り上げることができました。

今後もOECAが団結と協働で、EA21を含めた環境保全活動のトップランナーとして果たすべき役割・責任を再確認した全国交流研修大会でした。

(EA21普及委員 堀 勝弘)



エコアクション21 地域事務局大阪の活動報告

エコアクション21 中央事務局（IGES）の開設と同時に平成17年4月「エコアクション21 地域事務局大阪」を開設いたしました。2年半を経過して、事業者の認証・登録件数も順調に推移して来ていますが、現在までの活動報告をいたします

現在、エコアクション21 中央事務局（IGES）で認定されている地域事務局は、30都府県41団体があります。そして、11月末の認証・登録事業者数は2009件の登録を達成しました。其のうち地域事務局大阪で取り扱った認証・登録該当事業者数は175件の実績に成り、地域事務局の中でトップランナーの位置を継続しています。

エコアクション21 地域事務局大阪での実績業務は、

第32回判定委員会を11月28日に開催。また、第4回運営委員会を6月8日に実施いたしました。

また、11月末現在、地域事務局大阪で受付した事業者数は新規登録審査、中間審査、及び更新審査を含め328件になります。その内訳は新規登録審査事業者が167件、中間審査事業者が102件（旧EA21、パイロット、暫定の事業者を含む）、更新審査事業者が43件、審査継続中事業者が16件の実績となっています。

その他、19年度の実績として、大阪環境カウンセラー協会の事業部門及び、EA21普及委員会で実施したEA21普及セミナー、説明会は、大阪市内を始めとして、吹田、枚方、堺、富田林、豊中、茨木、大東の会場など、大阪府下各地に於いて計10箇所で開催しました。

また、(財)地球環境戦略研究機関主催の地球環境セミナーに参加してエコアクション21 地域事務局大阪の紹介など、多くの事業者をはじめ、各関係機関に普及促進活動の展開を継続中です。

その結果として、19年度の「自治体イニシャティブ・プログラム」が大阪市、吹田市、堺市、大東市、茨木市の5自治体で申込みがあり、同様に「関係企業グリーン化プログラム」が、大阪ガス、アスクル、大阪府中小企業家同友会など3関係企業の申込み、その他集合研修プログラムが3組織で実施など、現在各場所で認証・登録に向けプログラムを展開中で、約100件以上の事業者が参加されています。

さらに、今後のエコアクション21 制度の普及促進を図る活動として、EA21普及委員会による、EA21普及戦略会議の実施、審査人技術向上委員会による、審査人スキルアップ研修などを実施して充実を図っており、今後更なる成果が見込まれます。

今後ますます人材が必要になって来ます、皆様のお力をお貸しください。

(エコアクション21 地域事務局大阪 北 潤明)

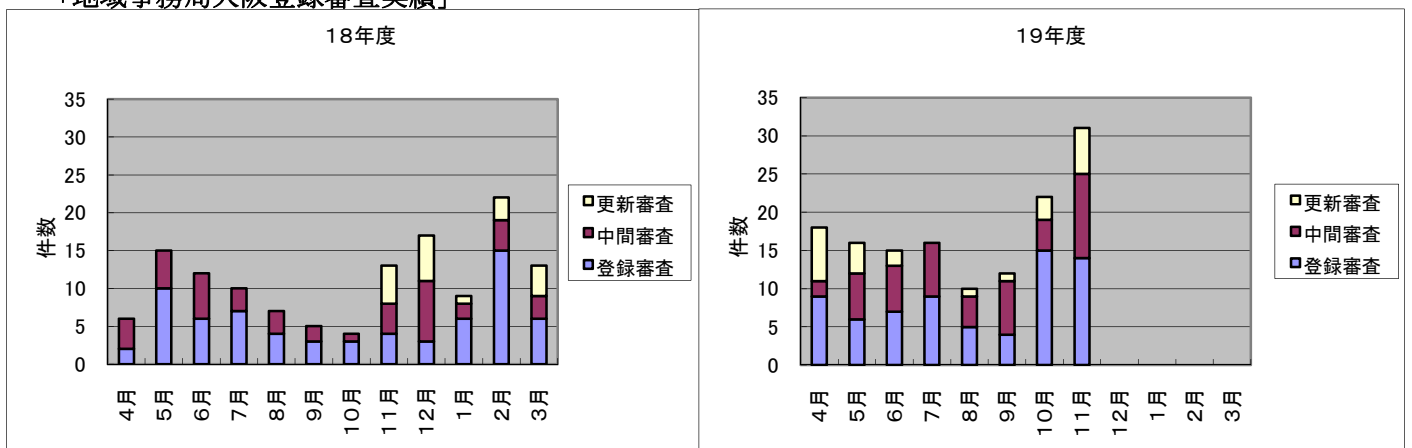


(財)地球環境戦略研究機関主催の地球環境セミナー



自治体イニシャティブ・プログラム

「地域事務局大阪登録審査実績」



大阪市環境経営推進協議会・事務局 活動報告

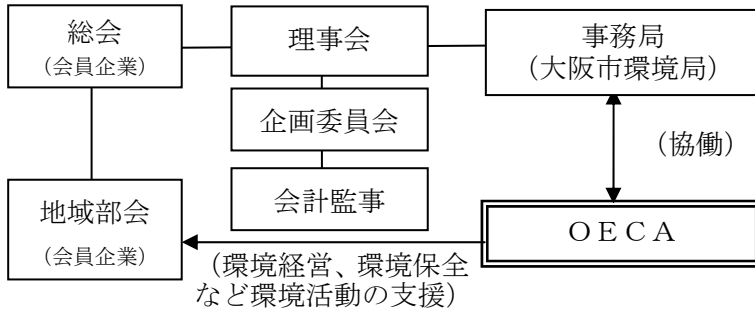
大阪市環境経営推進協議会事務局をOECAが受託

大阪市域で産業活動が活発になった昭和30年代頃から、スモッグ等の大気汚染が大きな社会問題化し、各区毎にばい煙防止団体が設立され、以後各種の公害防止などの都市環境問題の解決に取り組まれて、大きな成果をあげてきました。

一方で、近年環境問題は大きな質的变化が生じ、地球温暖化、廃棄物削減、リサイクル促進など多様化した環境問題の解決にこれまで以上の社会的責任を果たすことがもとめられています。

そこで、大阪市は24区の都市環境協議団体(連合会)を統合し、新たに大阪市全域を活動範囲とする新組織「大阪市環境経営推進協議会」を設立し、自主的な環境保全への取り組みの推進と、快適な都市環境の保全と創造についてより積極的に進めていくことになりました。

今回の協議会設立に際し、その事務局運営の一部を大阪市環境局からOECAが受託するとともに、各種の事業の企画や運営に環境カウンセラー会員の持つノウハウを提供することが求められています。



6月の設立総会以来、会員企業数も700社を超え、すでに活発な活動に入っております。

今後、この協議会が大阪市域企業の環境経営、環境保全に関する知識と技術の向上及びその交流を図るなどの環境活動の場として認知されるようにOECA会員のご支援、ご協力をお願い致します。

(事務局 塚本 勝)

事業部門 大阪市市民環境調査隊・活動報告



今年度で「大阪市市民環境調査隊事業」の受託は4年目になります。今年度の受託はコンペ方式でOECAの他に3団体が、当事業のあり方や実行手法を提案されましたが、OECAが大阪市のヒアリングで評価されて受託に至りました。

OECAの企画コンセプトは「大阪の環境のええとこ見つける」として、その内容は「協働意識の共有」「各主体間のコミュニケーション」「連携による建設的提言」を柱として提案致しました。

OECAには3年間の実績があり、この3年間で試行錯誤の結果、大阪市と共に構築した「協働」の考え方や仕組み、実行と継続的改善の手法がほぼ確立されたと考えられます。

さて、今年度の特徴として、まず、「協働意識の共有」については、調査隊の活動員ばかりではなく、一般への普及啓発として

「協働にかかわる普及啓発セミナー」をOECA主催、大阪府、環境省後援にて10月26日に開催しました。このセミナーでは環境省近畿地方環境事務所の野田課長に環境省の「協働」についての考え方と動向の講演、大阪大学の久保教授に国際的な「協働」の動向とNPOの役割の講演、大阪市、吹田市には協働の取組事例を紹介して頂きました。次に、「各主体間のコミュニケーション」については、前述のセミナー後に環境省、自治体、市民、学識経験者を交えた交流会を開催し、各主体の考え方や意見を交換しました。また、11月28日には調査隊の隊員の相互交流を目的とした合同フィールドワークとして、「大阪湾から大阪市の環境施設及び環境施策を見る」ということで、大阪市港湾局にお世話になり、クルージングの中で、いろいろな説明を受けたり、質問意見が交わされました。

最後に「連携による建設的提言」については、12月22日の調査隊全体報告会に向けて、今年度活動の結果から、協働による各主体の意見を調整した提言が期待できます。

今年度の活動は、調査隊事業のような「協働」の活動をもっと知って頂きたい、そして、自治体や企業においても、このような活動を実施して環境保全に取り組んで頂きたいとの思いを一步踏み出したものと言えます。「協働」の活動は国際的にみて、我が国はまだ後進国です。それは、仕組みや各主体の中に入って、調整したり、公平な意見を求められるNPOの地位が確立していないためです。

これを確立するためには、NPOの日頃の行いから信頼性を高めること、NPOが連携して、政策提言できるようなネットワークの構築などが求められます。調査隊の運営手法はOECAのようなNPOが政策提言を行うための基本的な要素を持っており、今後の普及啓発や手法開発にOECAの役割が大きく貢献出来ることを期待しています。

(大阪市市民環境調査隊 総合アドバイザー 飯田哲也)

環境教育部門 活動報告

平成 19 年度の環境教育部門の活動を大きく分けると

- ① GEC、大阪市、他からの委託実験教室
- ② 希望された学校（吹田市立片山小学校等）への OECA の自前予算による実験教室
- ③ 大阪市、河内長野市、羽曳野市、等からの依頼による出前環境講座
- ④ 吹田市、大阪市、豊中市等の環境展への出展
- ⑤ 自然観察保全活動
- ⑥ 環境省近畿地方環境事務所の環境カウンセラー研修の企画、運営等の受託事業

となり OECA 会員の皆様のご協力により、この様な各分野で活動を行っております。

この中で①の受託実験教室のうち、平成 19 年 1 月 7 日に大阪府立平野高等学校での実験教室（写真）を吉村理事、猪尾執行理事と実施した。当校は校庭の中に敷地面積、約 4000 m²の日本一のビオトープのある学校として有名で、環境学習に熱心な学校でした。後日、吉村理事はご自身が講師を務める O 大学・環境学部の学生とビオトープ見学に同校を訪問しました。ビオトープに関心のある方は、一度、見学に行かれることをお勧めします。
（環境教育部門 部門長 阪野 喬）



環境教育部門 活動報告

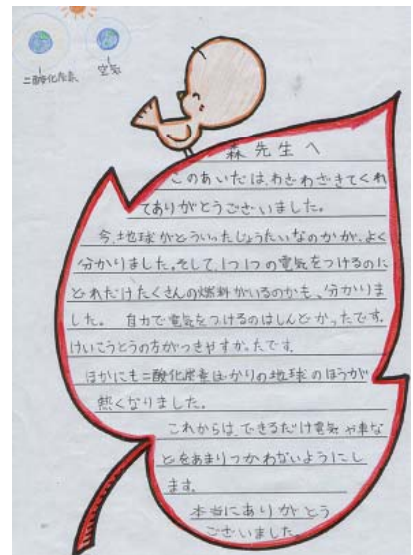
洲本市立鳥飼小学校・地球温暖化実験教室

平成 19 年 1 月 2 日（金）に兵庫県洲本市立鳥飼小学校で、5、6 年生を対象に「地球温暖化実験教室」を次の内容で実施した。

- ①地球温暖化って何？
 - ②地球温暖化で困ることを調べよう
 - ③調べたことをまとめよう
- DVD「熱い地球」を上映 ○ 地球温暖化の実験

子供たちは地球温暖化についての知識を以外と知っていたが、実験・実証を通じて更に納得したようである。子供たちは手作り実験装置に直接触れることで大変喜んでいました。

OECA の大阪府下を中心とする実験教室巡回チームの普及啓発活動のご苦勞は、小職も体験することで本当に NPO 活動の見本であることを再認識した。今後もより多くの子供たちへの OECA 会員のみなさんの普及啓発活動に期待している。（監事 森 義信）



実験教室風景



なたね燃料油によるバイオディーゼルバス

環境教育部門 活動報告 (イベント)

中之島 Music Carnival '07

大阪市役所、市立図書館、中央公会堂等が建ち並ぶ土佐堀川と堂島川に挟まれた中之島公園一帯で、2007/09/15~17 の 3 日間、「中之島 Music Carnival '07」が開催された。

OECA から「地球温暖化防止」をテーマに“地球温暖化実験機材の展示及び説明&手廻し発電の体験及び指導”を宇田、森（義）、森田毅、森郁、小林正中、門田、谷、猪尾が参加した。

子供連れの家族を中心に地球温暖化の仕組み、実験装置について説明したが、子供たちは手廻し発電の発電に夢中であった。



(執行理事 猪尾英雄)

環境教育部門 自然環境活動報告

淀川汽水域観察会：自然環境部門では7月1日に淀川汽水域での生物観察会を行ないました。

(淡水と海水が混じるところを汽水域と言います。琵琶湖・淀川水系では、淀川大堰(柴島・毛馬地区)より下流の約10キロ(新淀川放水路)が汽水域となっています。)

富平講師始め9名が参加、少人数でしたが長時間に渡りゆっくりのんびり汽水域の生物観察を行なう事が出来ました。当日は地元漁協の主催によるシジミ祭りが同場所で開催されていました、淀川の河口域では良く肥えた美味しいシジミが取れる様で、実際地元の方が川に入って沢山のシジミを採集していたのには驚きました。来年度に向かい部門内の連絡を密にして新しい体制作りと事業企画に取り組みたいと考えています。OECAの皆様のご支援とご意見・ご指導をお待ちしています。

(自然環境部門長 福田 裕)

(写真提供：一戸弘道 OECA 会員)



TOPICS



“大阪環境カウンセラー協会 理事長 高井 茂さん 75”

後半戦に入った大阪市長選。市政改革の行方などを巡る舌戦が展開されているが、市民の生活に直結する課題も山積している。街の発展、子育てなどの福祉、環境問題……。各界で活躍する人たちに、市政に何を求めるか語ってもらった。

『～「大阪市の夏は、日本一暑い」と言われています。車やエアコンの排熱などで気温が上がるヒートアイランド現象も影響しているのでしょう。抑制策としてはビルの屋上緑化が効果的で、市役所本庁舎や区役所でも導入されています。しかし、市民にはほとんど知られていません。都心部の癒やし空間として、広くPRする必要があります。』

時には、市庁舎の屋上でピアガーデンを催すのもいいのではないのでしょうか。行政が率先して取り組む姿勢を示すことで、企業や市民の意識が高まり、環境負荷の少ない街を実現できると思います。～』

(読売新聞 2007/11/14 朝刊より抜粋)

地域の活動・東大阪

「もったいない捨てる前の一工夫」をテーマに、ネットワーク・リフォーム・東大阪を1987年に設立し、毎年、“服飾りふおむしょう”を開催している。平成19年11月24日に“第21回東大阪服飾りふおむしょう”を樟蔭女子大学・円形ホールで、会員の他、一般参加者及び市長始め行政の方々をお招きし、開催しました。

毎月1回、服飾リフォームの教室(東大阪消費生活センター)に通う会員が、着なくなった古着、思い出の着物を使って、素敵に生まれ変わった各人の作品をファッションショーで紹介し、羽織をリフォームしたブラウススーツなど、日本の着物のすばらしさ、文化のすばらしさを再認識した1日でした。

また、今回は服飾リフォームショーでは初めて“環境講座”をJAXA(宇宙航空研究開発機構)の館下先生をお招きし、実施した。「宇宙から見た日本と環境」をテーマに、地球温暖化のお話から、温室効果ガス観測技術衛星GOSAT等について分りやすく講演して頂き、子供たちにも聞かせたかったという参加者の感想であった。

(ネットワーク・リフォーム・東大阪 代表 松浦陽子)



星野叡史さんのご逝去を悼む



(在りし日の星野さん)

平成 19 年 4 月 29 日に O E C A 執行理事の星野叡史さんが逝去されました。以前から健康があまり宜しくなく、用心をされておられましたが、それでも、突然のご逝去の知らせを受け、驚くと同時に深い悲しみを感じました。

星野さんは早くから O E C A の会員で、理事、執行理事、近畿職業能力開発大学校講師派遣部門長、エコアクション 2 1 地域事務局大阪判定委員会委員長として、協会の主導的な役割を果たして来られました。

特に、近畿職業能力開発大学校への講師派遣につきましては、星野さんのお力で、6 年間に渡り継続し、多くの会員が環境関係の講師として活躍することが出来ました。また、環境家計簿の普及に当っては、その膨大なデータを集約・分析するシステムを開発され、素晴らしい纏めをすることが出来ました。

環境実験教室にも積極的に参加され、普及にご尽力いただいた他、エコアクション 2 1 の判定委員長を快く引き受けていただき、正確・公正な判定をしていただきました。思い出すことは星野さんの直向なご尽力ばかりです。星野さんのご尽力に、深く、深く感謝を申し上げ、ご冥福をお祈り申し上げます。

理事長 高井 茂

大阪総合行政相談所環境相談室への相談員派遣



中本雅雄相談員

O E C A では、環境省近畿地方環境事務所の委託を受けて、毎月第 4 月曜日に環境相談員（「身の回りの環境相談」担当）を大阪総合行政相談所へ派遣しています。当相談所は昭和 54 年から、大丸百貨店心齋橋店・南館 8 階に設置され、国等の行政機関、地方公共団体や各種団体などから派遣された専門家が毎日待機し

ています。一度お立ち寄りください。尚、開設日は百貨店の営業日、営業時間です。

(副理事長 島林泰人)

事務所からのお知らせ

O E C A の皆様こんにちは!



河内長野市美加の台の山本元一と申します。

O E C A に入会して、4 年程になりますが、これまで行事参加のみで、活動歴が殆ど有りませんでした。昨年 6 月、勤務する会社で E A 2 1 の推進業務をしている縁もあり、「エコアクション 2 1 地域事務局大阪」に、2 日/週の頻度で勤務する事になりました。よろしくお願い致します。

現在、E A 2 1 取組事業者・審査人・判定委員会・中央事務局との接点に立ち、スムーズな推進を図る役割に四苦八苦しながらも、先輩事務局員の方々のお陰で何とか頑張っております。

お気軽に声をかけてください。お待ちしております。

O E C A のぼり旗、ブルゾン、帽子 3 点セット購入

イベント会場を華やかに彩るのぼり旗の購入希望が以前からありましたが、この度、ようやくのぼり旗 5 本、ブルゾン・帽子 1 0 セットを購入しました。のぼり旗は風にはためいてよく動くため遠くからでも目立ち、皆さんの活動をサポートすることでしょう。貸出しは事前に事務局までお申し出ください。(ブルゾン等のカラーは O E C A の HP で・・・)



編集後記：あけましておめでとうございます。

今年からニュースレター・ヘッダーのスローガンを理事長の年頭の挨拶“みんな仲良くを合言葉に”から、『みんな仲良く地球温暖化防止!』に改定しました。よろしくお祈りします。

昨年は事業者の法令違反が次々に発覚し TV、新聞等ににぎわし、2007 年の世相を表す「今年の漢字」に、『偽』が選ばれ、清水寺・森貫主は「このような字が選ばれることは恥ずかしく、悲憤にたえない。己の利ばかりを望むのではなく、分を知り、自分の心を律する気持ちを取り戻してほしい」と話していた。(読売新聞)

EA21 では“法規制の順守の誓約(コミットメント)”は、環境方針で誓約することを推奨事項としていますが、地域事務局大阪扱いの EA21 登録事業者の大半は、その環境方針の中で、“法規制の順守”を誓約されている点は評価されます。

今後は ISO14001 を含め、法令順守の仕組みとその運用状況等の質の向上が期待されます。

2008 年「今年の漢字」は明るい世相を反映した漢字になれば良いですね!(中島記)

発行者：NPO 法人 大阪環境カウンセラー協会
住 所：〒552-0021 大阪市港区築港 2-8-24
piaNPO 411 号
TEL:06-6599-0600 FAX:06-6599-0607 e-mail: info@osaka-eca.org http://www.osaka-eca.org/

発行人：高井 茂
編 集：中島延雄
発 行：平成 20 年 1 月

